

# 令和6年度 体育科 授業改善推進プラン

大田区立小池小学校

## (1) 成果

- ・教師が学年に応じた場や教材の工夫をすることで、児童が意欲的に取り組んだり、達成感を得たりすることができた。
- ・学習カード等で毎時間振り返りを行うことで、自己の課題を意識し、その解決に向けて体を動かす姿が見られた。

## (2) 課題

- ・ペア活動やグループ活動を多く取り入れることで、児童の視野を広げ、新しい課題に気付けるようにする
- ・引き続き、様々な場の設定をすることで、苦手意識の強い児童でも自己の課題に適した活動を選び、取り組めるようにする。

## 2 授業改善のポイント（観点別）

### (1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○「遊び」を通して知識・技能が身に付くような声掛けや支援を大切にする。 ○児童が楽しい運動に出会えたり、楽しみながら技能を身に付けられたりする場や教材・教具の研究を行う。	○自らの力に応じて練習の仕方や、場を選択できるように環境を整える。 ○自分や友達のよい動きについて発表する時間を設けて、考えられるようにする。	○安全に楽しく活動するために、きまりを守ることの大切さを繰り返し指導する。 ○授業中にも互いに称賛し合えるような指導をし、達成感を高めていく。

### (2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○楽しさや喜びに触れながら技能を身に付けられるように教材教具の準備、教材研究を行う。	○学習カードや掲示物、ICT 機器を用いて、自己の能力に適した課題を見付けたり、課題解決のために活動の場を選べるようにしたりする。	○きまりを守って誰とでも仲よく運動したり、場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにする。 ○友達の考えを共有し、認め合えるような場の設定で、「できる」楽しさを感じられるようにする。

### (3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○得意・不得意の差が見られる。それぞれの児童の実態に合った段階別、課題別の場を設けることで技能の習得を目指せるようにする。	○自己の能力に適した課題を見付けたり、課題を解決するための方法や活動を工夫したりできるように、資料や場の設定を分かりやすく提示する。 ○グループで課題やポイントを伝え合う時間を毎時間設ける。 ○ICT 機器を用いて、課題を見付けたり、課題解決のために活動の場を選べるようにしたりする。	○児童一人一人の課題に合った声掛けや、児童同士が課題を協働的に解決する活動を通して、「分かる」「できる」楽しさを味わわせ、意欲的に取り組めるようにする。